

教育学研究科修士課程入学試験を受験予定の皆様へ

オンライン試験に関する案内

令和3（2021）年度の修士課程入試は、新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢の変化を受け、オンライン試験方式で実施することとなりました。また、出願はオンライン入力と郵送の併用により行うこととなりました。例年と異なる出願・試験方式となりますので、出願に当たっては以下の諸点についてご理解下さい。

なお、試験実施に関する詳細な情報は、出願受付後、出願者へ受験票とともに送付する「受験者心得」で通知します。

1. 出願方法：オンライン入力と郵送の併用について

今年度より、本研究科ではオンラインによる出願方式を導入します。出願期間までに、教育学研究科の公式ウェブサイトに必要な事項を掲載します。その指示に従って、オンライン上で必要事項を入力、また研究計画書等をアップロードして下さい。入力、アップロードした内容を入力して、他の必要書類と併せて郵送により提出して下さい。必要書類の詳細は募集要項の「6. 提出書類等」の欄を参照して下さい。オンライン入力と郵送の双方を出願期間内（7月13日（月）～7月17日（金））に必ず行って下さい。

2. 受験場所および必要な機器について

試験は原則として、自宅、または自室からインターネットに接続して受験して下さい。これ以外の場所での受験も可能ですが、試験中に他者の入室が不可能で、過度の騒音のない場所で受験して下さい。

本試験を実施するオンライン会議システムおよびウェブページには、タブレットやスマートフォンからもアクセス可能ですが、受験者が解答を打ち込む必要がありますので、デスクトップ型かノートブック型のパーソナルコンピュータ（PC）から接続することをお勧めします。

PCのOSやウェブブラウザには制限はありません。Windows、Mac、Linux、Androidに対応しています。カメラ機能がPCに内蔵されていない場合は外付けのカメラ（マイク機能の付いたもの）を準備して下さい。

より詳細な情報は、受験票とともに送付する「受験者心得」で通知しますので、そちらを参照して下さい。

3. 第一次試験（筆記試験）について

受験者は、複数の受験者が同時に入室するオンライン会議システムに入って、監督者立ち会いの下で筆記試験を受験します。各受験者はPCを使って、研究科が指定するオンライン会議システムおよびウェブページにアクセスし、ウェブページに表示される問題を見て、解答フォームにPCから入力することにより解答します。

試験当日までに、各受験者が指定するウェブページにアクセスできるかどうかのテスト期間を設けます。テスト期間は受験票送付時に通知します。

4. 外国語（英語）試験の形式、出題方針について

外国語（英語）試験は、例年、研究科全体で共通の問題を出題し、独立の試験として実施していますが、今年度は専門科目と同一試験として実施します。従来 of 専門科目試験の時間（3時間）の中で、専門科目および英語に関する出題を行います。出題はいずれも受験するコースごとに行います（学校教育高度化専攻については一部で専攻共通問題が出題される可能性があります）。また、例年は英文和訳問題を出題していましたが、今年度は各コースの教育研究分野に即した出題を行うこととし、出題方式は英文和訳に限らないこととします。過去の入学試験問題を用いて準備する場合はこの点に留意して下さい。

また、第二次試験（口述試験）の中で英語力を問う場合があります。ただし、この場合でも、スピーキングやリスニングに関わる英語力を問うことはありません。

5. 筆記試験時の英語辞書の使用について

募集要項にも記載した通り、筆記試験の実施に際しては英和辞典（母語が日本語以外の受験者の場合はこれに限らない。）1冊を用いることを許可します。その辞書は、印刷されたものに限り、それ以外の辞書（電子辞書など）や他の文献を参照したり、研究科から指定されたもの以外のインターネットやソフトウェアを使用したりすることは不正行為となります。

6. 第二次試験（口述試験）について

第一次試験合格者に対して実施します。第一次試験合格者には第一次試験合格発表と同日、口述試験の実施要領をe-mailによって通知します。出願時に、常時連絡の取れるe-mailアドレス（PCから送付するe-mailを確実に受信できるもの）を必ず記入して下さい。

口述試験は受験者1名と各コースの全教員により実施します。